

～渋沢栄一“縁^{ゆかり}の人”たちの志の跡を追う ～展示概要編～

[展示の内容]

■ 渋沢栄一“縁^{ゆかり}の人”たちと田無・保谷

■ 渋沢成一郎・振武軍頭取、田無に現れる〔慶応4（1868）5月1日〕

〔振武軍、田無屯集〕“振武軍旗”田無に、はためく！～徳川家再興の志を抱いて～



“振武軍・本営” 西光寺（現・総持寺）

明治8（1875）年に観音寺、密蔵院と合併して西光寺から総持寺と改称

撮影：村田政雄氏 昭和35（1960）年
西東京市中央図書館所蔵



振武軍頭取・渋沢成一郎 “田無に現れる”

振武軍旗

慶応4（1868）年 個人蔵

画像提供：飯能市立博物館

田無の地で、渋沢栄一“縁（ゆかり）の人たち”渋沢成一郎、平九郎、尾高惇忠らを中心とした振武軍が結成されました。

軍旗には縮緬（ちりめん）の生地（きじ）に、旧幕府方の象徴である徳川將軍家の三つ葉葵（あおい）の家紋が染め付けられています。

「徳川家再興」という振武軍の青天を衝くほどの熱い思いが感じられます。

大きさは、縦63cm、横26cm。田無村でつくられたものか。

■ 展示資料紹介

- ・ 西東京市中央図書館所蔵:写真資料

山門のない総持寺、旧密蔵院（田無学校）、観音寺にあった田無学校